

481

昭和十八年一月廿四日(日)。

前寒といふから、さすがに何日か一週間程
前の早朝気温十六度、相当の寒気振りで、自來
屋の中にゐる起きかけの氷浴には、浴場の約
one blockの距離にゐるだけ、一寸閉口したものの、
翌朝日に到り、遽に気温上昇して、八十度だ。
寒中八十度ほど未だ想像も及ばず、初めて経験
である。午後六時半句会に出席、同好の御人
約十三名。先般区院わの旧暦日久し振りで
出席したのであったが、矢張り腰工合が良くあつ
た、其の次の句会は従つて欠席したのであったが、
今夜は堪へがたい村々等はあつた。

昨日わ、同胞に base ball game が柵の ground
に遊ばれたので其の見物のため、柵内には残した
者は極めて少く静かである村の如し。ベースボール
の言ふが soft ball ばかりで変態も無い。

上田仁助君(六十三歳)は長らく入院療養中
昨日死去したの事である。公君は Panama 在住
理髪業に従事し、病に冒され静養裡に捕はら
れ盡し、引き続き入院、その間米に移送され
南米病院に患者として今日に到つたのである。リウ
マチスに患病だといふ。僕が区院の時は、既に
ドラクから同様の死は何時の問題だと思はれてゐた。

一月廿五日(日)

午後三時 2 Area に於て故上田君の葬儀執り

上田君
死去